



Information-technology  
Promotion  
Agency, Japan

ITリテラシースタンダード

IT Literacy Standard (ITLS)

<初版>

「ITLSの概要」

2018年12月28日

独立行政法人情報処理推進機構  
社会基盤センター 人材プラットフォーム部

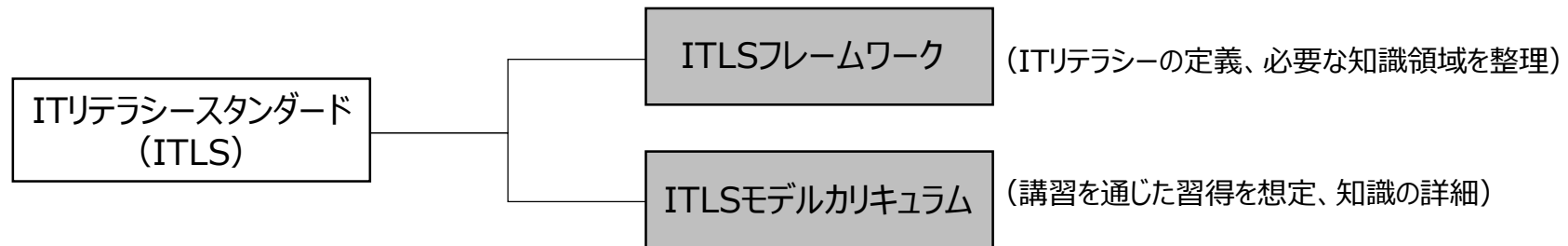
## ■ ITリテラシースタンダード (ITLS) とは

ITリテラシースタンダード (ITLS) は、将来の成長や競争力強化に向けた**ビジネスの改善・刷新と効果的なIT活用・投資を進めるための、主に事業部門やスタッフ部門などで勤務するビジネスパーソン (非IT技術者) に求められるIT知識や技能、情報活用能力とその領域**を示すものである。

## ■ ITLSの構成

ITLSは、**ITリテラシーの定義と必要な知識領域を整理した「ITLSフレームワーク」**と、これに基づき、**講習を通じたITリテラシーの習得を想定した「ITLSモデルカリキュラム」**で構成する。

※ ITLSモデルカリキュラムは、知識の詳細を示すことを兼ねる。



# ITLSの概要②

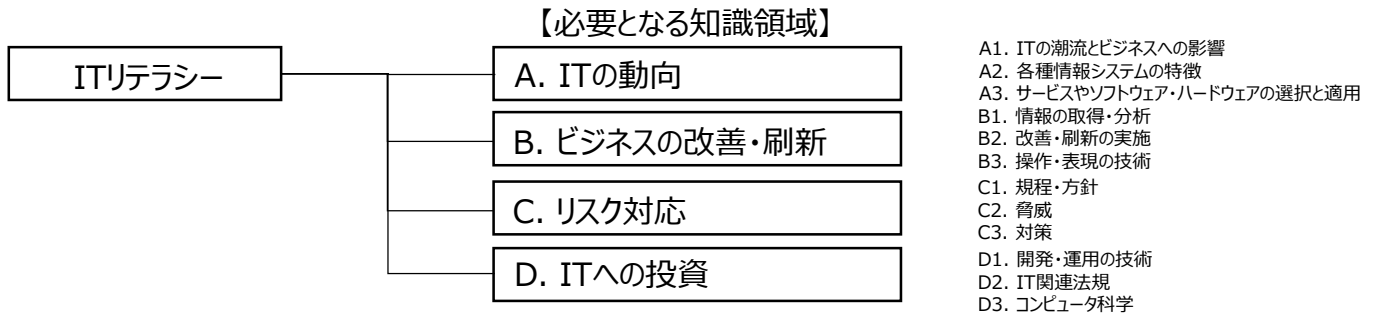
## ■ ITLSにおける「ITリテラシー」の定義

社会におけるIT分野での事象や情報等を正しく理解し、関係者とコミュニケーションして、業務等を効率的・効果的に利用・推進できるための知識、技能、活用力

## ■ 必要な知識領域の整理

将来の成長や競争力強化に向けては、**刻々と進化するITの潮流やこれらを活用した新たなビジネス形態の可能性が自らのビジネスにどう影響するかを的確に捉え (A. ITの動向)**、**速度感を持ちながらビジネスの改善や刷新に取り組む (B. ビジネスの改善・刷新)** ことが重要であり、その際には、同時に**セキュリティを含めたリスクにもぬかりない対応が必要**となる **(C. リスク対応)**

また、ビジネスとITの活動の一体性が高まっている現在においては、**IT技術者との円滑なコミュニケーションを図るため、非IT技術者としてもITへの投資に関わる一定の知識が求められる (D. ITへの投資)**



## ■ ITリテラシーの習得・活用度

ITLSでは、必要な知識領域の習得及び実務での活用の観点から、ITリテラシーの度合いを定義する。

【1級】 **各領域に関する知識を横断的に活用し、実務の場でリーダーシップを発揮**できる。

【2級】 **「A. ITの動向」領域に関する知識を前提とし、必要に応じて他領域の一部の知識を適宜選択・活用しながら実務に対応**できる。